**化粧について**

**・**肌が補正されていると魅力度が上がるというのは、男女問わず清潔感が重要になってくるのかと考えられた。

・化粧をすることで肌のトーンが上がって情報量の少ない顔になるので余計なとこに目が行かず、好印象に捉えられるのかと考えた。そう思うと化粧は理にかなっているなと思った。しかし、人によっては化粧前(すっぴん)の方が良い印象を与える人も一定数いるので化粧することが絶対良いというわけでもない。

・そもそも何を持ってして化粧をしているか、その濃さを判断しているのかが気になりました。講義で人は顔の特に目に注目・判断しているという事から、目もしくは目の周辺の化粧に濃さによって、その全体の度合を判断しているのではないかと考えました。

**・**ある一部分(目元、口元など)だけ化粧を濃くして、どこを濃くすると魅力度が高くなりやすいか、また濃いと判断されやすくなって低くなるかということも調べられると感じた。

・化粧をして魅力度が上がる人、化粧をしても魅力度が上がらない人、化粧をしないほうが魅力度が上がる人とのデータを比較して、どのような顔のパーツや化粧の色合いなどの違いがあるのかを調べてみると、化粧品会社などで「この顔パーツの傾向の人には、○○という魅力をあげたい目的であれば、このような化粧の仕方がおすすめ」など、化粧診断資料として応用できるのではないかと考えた。→客観データによる測定を加える事が望まれている

・化粧のやり方(濃い化粧、薄い化粧など)の違いによって魅力度に差があるのではないかと思った。

・年を取れば取るほど、濃い化粧よりもナチュラルメイクやすっぴんの方が美しく見えるような気がします。

**魅力について**

**・**認知度や安心感といった要素も一種の魅力と言えると感じた。

**・**男らしさが魅力を下げるというのに驚いた。

**・**個人差だけでなく時代によって魅力として重点が置かれる要素が変わることもありえるという話は興味深かった。

**・**芸能人クラスではなく一般の人ぐらいの顔で実験を行うともっと違った結果になるように考え、化粧によって一重から二重になり、大分印象が変わる人もいるのでもっと多くのデータを取ると結果が変わり面白くなるのではないかと考えた。

**目と手**

**・**人は目と手をよく見るということだが手が綺麗なだけでも魅力度は変わるのかなと思った。

**・**目というのは化粧をする際にも比較的時間をかけるだけあって情報量が多い要素だと考えた。例えばまつ毛や瞼、カラコンや目尻、広く捉えれば眉毛まで含まれる。

・最近は外出の際は必ずマスクを装着しなくてはいけないため、画像の女性がマスクをつけた状態での結果がどう変化するか気になると思った。人間は顔画像を見た際、目元に視線が集まるのでサングラス等を装着した場合の結果もどう変化するのか気になる。

・アイトラッキングに関しては、心理は関わってはいないものの、何かの上級者と初心者での視線を比較してどう違うかを調べてみるのが面白そうだと思った。

**その他**

・ポジティブ感情が免疫力を上げるのに影響するという話もとても興味深く、そういった意味では、ネガティブ感情の研究よりもポジティブ感情の研究のほうが重要性が高いのではないかと思った。

**・**一家団欒といったリラックスしている状況に溶け込んでいるため、テレビで映っている時と酷似した状況である画像の提示をされても、リラックスしている時のことを想起させて、皮膚音は上昇したのではないかとディスカッションを通じて考えた。

・お笑いといっても物語風のコントや2人が並んで対話を繰り広げる漫才、リズムに合わせて笑いを引き立たせるもの、IPPONグランプリのような一発系など様々なものがあるため、それだけでも違った生理反応が測れると思う。

**お笑い**

・中でも推したいのはがじゅまるのこのネタ(https://youtu.be/dof4gMAo8r4)だ。

・M1で最高得点を取ったミルクボーイの漫才やYoutubeに公式動画を出しているNON STYLEやサンドウィッチなどはどうでしょうか。

・https://youtu.be/hyqzA4LRcOE
<https://youtu.be/RRSJBI3fSus>

・ノンスタイルは「お化け屋敷」をおすすめしたい。

・猫の動画です。「<https://youtu.be/TSsgqRfdB04>」

・『心の底から笑いたい人へ』という動画が適していると思いました。
URL：<https://www.youtube.com/watch?v=ucOv4OE30aI>

・https://youtu.be/WAWifE\_pw\_k